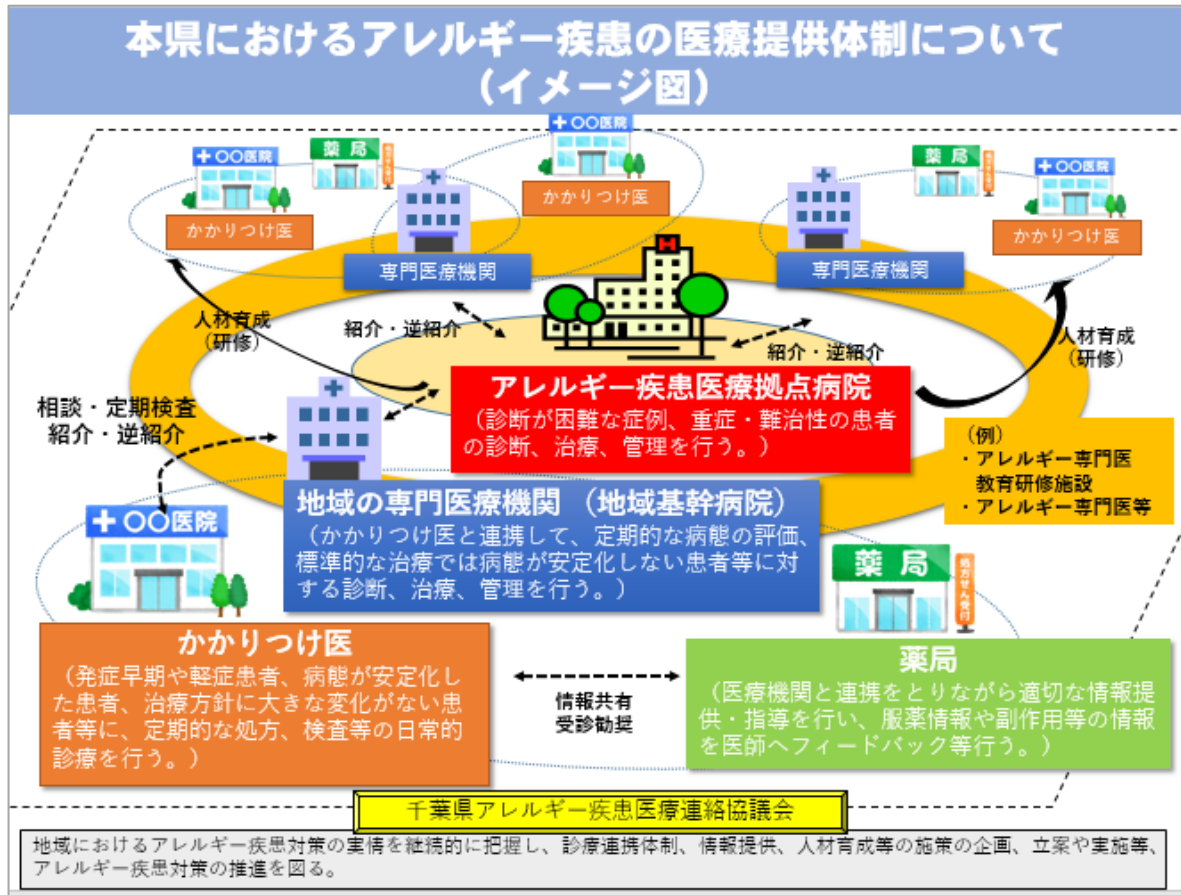


アレルギー疾患医療提供（連携）体制について

1 アレルギー疾患医療提供体制の確保

・施策の方向性(基本的施策)

アレルギー疾患を有する者が、居住する地域に関わらず、適切な医療を受けられるよう、アレルギー疾患医療全体の質の向上及び提供体制を整備していきます。



2 連携体制に関する取り組み状況

(1) アレルギー疾患医療連携体制ネットワーク会議

県内のアレルギー疾患地域基幹病院、拠点病院の間でのアレルギー疾患診療連携体制の構築に向けて必要な協議、調整、会議開催等を行う。

	令和元年度	令和2年度
日時	令和元年12月20日	開催中止→アンケートを実施
内容	今までの拠点病院の活動と、今後の連携体制や、基幹病院の役割について意見交換を実施。	地域基幹病院に対して、今後の連携等に関するアンケートを実施。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 研修会への講師派遣 会場提供 アレルギーをテーマとした市民公開講座の開催 各医療機関の取組の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は全地域で市民公開講座の開催ができなかったことを把握 拠点病院へ期待することを把握 研修会等のアナウンス 各医療圏で開催するアレルギー事業の広報 各医療機関の診療情報の共有

(2) 千葉県食物アレルギー診療連携ネットワーク会議

令和元年度から、拠点病院と千葉県小児科医会との共催により、これまで千葉県小児科医会が中心となって実施してきた、全県・全年齢の食物アレルギー診療ネットワークを構築する目的で、拠点病院事業として実施されている。

	令和元年度	令和2年度
日時	令和元年9月18日	令和3年1月20日
内容	<p>1 講演 成人の食物アレルギー</p> <p>2 パネルディスカッション 地域基幹病院の負荷試験の実態と課題について</p> <p>3 意見交換 千葉県における食物アレルギーの診療連携について</p>	<p>1 千葉アレルギー地域連携の会(北東部南部)の取組の紹介 「専門病院～地域医療基幹連携のための負荷試験・食事指導の共通・共有化の試み」</p> <p>2 一般小児科外来での食物アレルギー診療の手引き鶏卵アレルギー編の作成過程の紹介 「小児科一般外来における食物アレルギー診療を考える ～最初の一步、卵編～」</p>
成果	意見交換により、かかりつけ医師のレベルで、食物経口負荷試験を実施することは困難である、という現状が把握できた。	千葉地域における食物アレルギーネットワーク連携が構築されている。かかりつけ医で食物経口負荷試験が実施可能になるように、食物アレルギー診療の手引きの作成に着手した。